

平成28年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1494200023	事業の開始年月日	平成22年12月16日	
		指定年月日	平成22年12月16日	
法人名	株式会社 メディカルケアシステム			
事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘			
所在地	( 243-0410 )			
	神奈川県海老名市杉久保北2-18-25			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成28年9月12日	評価結果 市町村受理日	平成29年1月10日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

豊かな経験を生かして入居者の意思を尊重、家族のニーズに応えながら、専門のスタッフが24時間体制できめ細やかな介護を行っています。医療連携も充実しており、訪問医と看護師が入居者の体調管理を行っております。四季の移ろいが感じられる菜園では野菜を作っており、種の植え付けから収穫、調理までを入居者とスタッフが一緒に行い楽しんでおります。レクリエーションに関しましても、五感に働き掛ける催し物や外出を行い四季を感じていただいております。近所にはコンビニやスーパーがあり、外出・買い物レクを通し地域とのふれあいや自立支援を大切にしております。日々のケアでは入居者様本意の介護、ご家族様のニーズを大切にしており、物事を選択できるような環境作りを行っております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成28年10月27日	評価機関 評価決定日	平成29年1月4日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線、小田急線の「海老名駅」より相鉄バス農大前行で、「杉久保小学校前」下車徒歩4分の閑静な住宅地にあります。居室は全室南向きで陽当たりのよい暮らしやすい環境です。近隣には商業施設やコミュニティセンターもあります。

<優れている点>

事業所はアットホームな雰囲気活気にあふれています。ほとんどの利用者が朝からリビングに集い、ニュースやテレビ番組を話題にし、また、歌やレクリエーションなどで利用者と職員、利用者同士で声を掛け合い、話が弾みにぎやかな笑いの中で元気に過ごしています。行事やレクリエーションも多彩で、家族会や運営推進会議の中でも行っています。生活の主体は利用者で、職員は足りないところを支援する姿勢であり、清掃、洗濯、食事作りから後片付けまで、できることはやってもらい、色々な場面で利用者の五感を刺激し、自立度を高める支援を行っています。本年度から、運営推進会議の活性化を図るため、実際に行われているレクリエーションを会議に組み入れ実施しています。7月には「流しそーめん」レクを織り交ぜて開催し、利用者の表情、職員の動き、事業所の雰囲気を感じてもらえる良い機会となっています。また、利用者も会議の意見交換会に参加しています。

<工夫点>

毎月、家族に対して職員手書きの「お手紙」と事業所での活動状況を伝えるイベント写真やお知らせ、行事案内などを記したカラー刷りの内容の充実した「ホーム新聞」を届け、家族とのコミュニケーションのツールとしています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念を掲げたクレドカードを毎朝の申し送り後、声を出して読み上げスタッフ同士確認をし合いながら日々の実践に取り入れるように努めております。	事業所の理念や法人の理念、行動規範を職員は共有し、理念に基づいた支援を行っています。毎月発行しているホーム新聞「ちいさな手 海老名ふれあいの丘」にもホーム理念を掲げ、利用者、家族とも共有を図っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、回覧板を頂くことで、地域での催しものや他の施設の行事などに参加させていただいております。	地域の夏祭りや盆踊り、コミュニティセンターのバザー、清掃活動など各種の行事に利用者と一緒に参加し、交流しています。また、音楽療法士を始めとした各種のボランティアが来所しています。消防訓練時には近隣にボスティングをして参加を呼び掛けています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職員に認知症について日々のケアの中や会議などで勉強会を設けて実践内容を学び、いつでも活かせられるように理解度を深めております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会の役員、民生委員、市役所、高齢介護課、地域包括支援センター、職員、ご家族、ホーム職員で運営推進会議を開催し情報交換や助言を頂きながら行っております。	年6回定期的に会議を実施しています。会議では意見交換が活発に行われ、前向きな提言があり、ホームの運営に活かしています。本年度より、会議の活性化を図るため、出席者に利用者のレクリエーションを実際に体験してもらう方法をとっています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の案内状と議事録の作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させていただいております。	市の担当課には、運営推進会議の案内状や議事録を届ける際に事業所の状況を説明し、意見交換を行っています。また、困難事例があった時は相談し、助言を得ています。市主催の研修会には必ず参加しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠をしております。一階と二階のフロアを行き来できるようにフロアの入り口の施錠は行っておりません。身体拘束は行っておりません。	職員は、内部研修や外部研修、フロア会議などを通じて身体拘束の具体的な禁止行為を理解しており、身体拘束のない支援を実践しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月フロア会議を開催し、虐待について検討を行っております。管理者はホーム内で虐待の見過ごしがないかを日々確認しております。ちいさな打ち身も見つけた時はヒヤリ報告書を作成し検討を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を必要とするケースには、管理者が対応しております。必要に応じて随時職員に説明を行い利用者の支援に結びつけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書、重要事項説明書を説明し、疑問を伺い回答させていただいた上でご理解、納得をしていただき、同意書をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会において意見をいただいております。また、玄関にも「ご意見箱」を設置しており、頂いた意見は全体会議の議題として検討を行っております。	家族の面会時や家族会で利用者の状況を説明し、意見や要望を聞いています。家族会は、年2回、運営推進会議と同時に開催しています。レクリエーションや事業所のあり方、地域交流の強化などについて意見や要望が出ており、その都度対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、一人一人に声を掛け、傾聴を行っております。毎月一階と二階のフロア会議を行い、意見や提案を発言できる時間を作っております。	管理者は、日頃から職員と話し合い、また、職員から意見や提案を出しやすい環境づくりをしています。必要に応じて個別面談も行っています。全体ミーティングでは、アンケート用紙に改善事項や実施してみたいことを記入してもらい、協議しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員のストレスや疲労の要因に気を配りながら声掛けを行い、日々の様子に注意を払っております。また、職員のやりがいに繋がるようにパート職員の社員昇給も行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修の情報集めに努め、職員の力量に応じ研修参加を促し勤務状況を調整しています。また、介護技術の向上においてはミーティングや実践の中で一緒に取り組みながら指導を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	音楽療法士の方をお招きし、ご利用者様とのレクリエーションにて交流を行ったり、近隣のグループホームの催しに参加させていただき、同業者との交流を行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居までの生活状態の把握とご本人の意向、思いを考慮したケアを行い、安心して生活して頂けるように職員との関係づくりに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族が求めているものや苦勞、困っていること、これまでの経緯についてゆっくりと話を伺い、事業所としてはどのような対応ができるか、その都度色々な情報を伝えながらご家族との信頼関係づくりを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の思いやその時の状況等確認し、安心して頂き、納得してご利用して頂けるよう possible の限り柔軟な対応に努め必要なサービスの情報提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様を人生の先輩という共通の認識のもと、日々の生活で喜怒哀楽を共にし、信頼し合える関係づくりに努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	居室担当を決め、職員がご家族に日々の様子や心身の変化を手紙にしたため、毎月お伝えしていくことでご家族様と情報の共有を行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご利用者様が築き上げてきた交流関係を把握していき、訪問時には楽しい時間を過ごしていただけるよう支援を行っております。	入居時に利用者や家族から友人や知人、交流関係などの話を聞き、馴染みの人たちの来所を勧めています。自宅への外泊、家族との旅行、墓参りなどの支援や、馴染みの店での買い物や外食、コーヒー店などへは職員が同行支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活で楽しい時間を過ごしていただく為、ご利用者様同士の関係性を職員が共有し、レクリエーションや食事などお席へ誘導する際には円滑になる様な働き掛けを行っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の事業所に移られたご利用者様が不安なく継続性を持って生活できるようにアセスメントを細かく作成し、情報提供を行い、連絡があった際は速やかに対応して連携できるように努めております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様がご自分で選択できるような声掛けに努めております。また、利用者の思いを引き出すような会話を心がけております。ご自分の思いをうまく伝えられないご利用者には、表情や仕草などを観察したり、家族に聞くなどをして思いを推しはかっております。	職員は、日頃から利用者の様子を見守り、利用者の思いや意向の把握に努めています。職員は、利用者の思いを引き出すような会話を心掛けています。また、利用者が自分で選ぶ楽しみを持ってもらい、選択できるような声掛けをしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に本人やご家族に話を伺ったり、担当されていたケアマネージャーより電話や書式にて生活歴やご家族の意向を伺い、情報収集を行い、情報を職員で共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録の中に職員との会話や日々のご利用者様の様子を記入しております。看護師からの連絡事項や、一日のご利用者様の様子を職員間で引継ぎ、情報共有を行い、ご利用者様の現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者、ご家族の希望を聞きながら医療関係者の意見を取り入れて三ヶ月ごとのカンファレンス、六ヶ月ごとのケアプランを作成しております。支援方法等に変化があった時はその都度作成をしております。	ケアプランは、利用者や家族、医師、看護師、職員の意向や意見を勘案して作成し、3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、評価を行い、6ヶ月ごとに見直しを行っています。また、必要があれば随時見直しを行い、現状に即したケアプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランにナンバリングを行いケアプランに沿った計画ができるように努めております。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れ、必要なサービスの確認を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人の意向、ご家族の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いております。また、通院や送迎等必要な支援にも個々の満足が高められるよう臨機応変に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域でのお祭りやイベントに参加しております。また、事業所でのイベントに地域の方々のご協力を頂いたり、市の郷土館などの公共施設にもご利用者様とお見学に行き意見交流する機会を設けております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診を受け、体調の変化等の相談を行いながら指示を頂いております。専門的な受診が必要な時は、ご家族の協力を頂いたり、ご家族の同行が困難な場合は職員が通院支援を行っております。	入居前のかかりつけ医に家族の協力で継続通院の利用者もいます。他の利用者は事業所提携医に切り替えています。往診は内科医は月2回、歯科医は週1回です。眼科や皮膚科は外来で、原則家族対応です。看護師を置き、常に健康管理を行っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に4日の訪問があります。ご利用者様ごとに診て頂きたい事案を記入しております。看護記録用紙に日々の気づきを残し、看護師にアドバイスを受けています。看護記録を作成し、職員間で共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際介護サマリーを作成し、情報交換をしております。病院に様子を見に伺い、その都度様子を伺い、退院に向けた話し合いに参加させて頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族に現状を説明し、同意書を交わし、今後の方針を主治医、看護師、職員が連携を密に取りながら対応を行っております。	重度化した場合や看取りの事業所指針は契約時に説明し、同意を得ています。看取りに当たってはさらに「看取り計画書」を作成、家族の同意のもとに主治医、家族、事業所と連携して取り組んでいます。看取りについては、開設以来多くの実績があります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時には、まず何をすべきか、オンコール対応策を作成し毎月の会議にて再確認を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ご利用者様の安全確保ができるよう、夜間の想定を含め年2回の避難訓練を実施しております。避難場所には近隣のコミュニティーセンターを利用させていただくことを自治会より了承頂いております。	避難訓練は消防署の立ち合いの下に実施しています。地震想定訓練も行っています。備蓄は食糧や飲料水の3日分が確保されています。他に簡易トイレやランタン、コンロなどを備え、リストを作成し管理しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として常に誠意を持って誠実に接する事を心がけてケアを行っております。一人一人の得意な事を把握し能力を発揮して頂くよう支援を行っております。また、不快な思いを感じさせないような声掛けを職員間で共有しております。	プライバシー保護の研修を入職時に行い、日頃のミーティングでも取り上げ周知しています。利用者に対しては人生の先輩として尊厳を忘れず、「言葉遣い」には十分注意をしています。排泄時の声掛けや声の大きさ、ドアの開閉に細心の注意をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用様が何でも話せる環境づくりに努めております。ご利用様がご自分で選択できるような声掛けを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子を伺いながら職員間で確認を行い、その日、その時のご本人の意向を優先しご利用者のペースに沿って一緒に生活を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の体調や様子を伺いながらご本人の意向を優先し、ご利用者のペースに沿えるような支援を行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューと食材は業者に依頼し調理、盛付け、配膳、下膳など一緒に行っています。利用者様の要望あればメニュー変更も可能です。菜園の野菜と一緒に収穫し、調理を行っています。同じテーブルを囲みながら楽しく食事ができるよう支援を行っています。	食材やメニューは外部に委託し、調理は利用者の形態に合わせて職員が作っています。季節の行事食や昼食レクリエーションなどの食事の楽しみもあります。また、希望に応じてファミリーレストランなどへの外食にも出掛けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人一人の状態にあった食事、水分摂取量を確認し、チェック表に記入しながら職員間で情報共有しております。しっかりと食事水分が摂取できるように一人一人の好みや症状にあった支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後声かけを行い口腔ケアを行っております。仕上げの介助の必要な方は職員が確認を行っております。口腔ケアの介助が必要な方は口の中の状態を常に把握し、職員同士情報共有をおこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	「IN/OUTチェック表」により水分量・食事量と排泄パターンを一覧表に記録し、声掛けによる前誘導を行いながら自立排泄が行えるように支援しております。	一人ひとりの排泄チェック表を作り、排泄パターンを把握してトイレに誘導しています。適切な声掛けを重ね、リハビリパンツから布パンツに改善した利用者もいます。失禁した場合はさり気ない声掛けでトイレに案内し、対応しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を記入していき排泄管理を行っております。自然な排便が行えるように毎朝体操を行ったり、歩いて腸内を活性化させております。また乳酸菌を飲用していただき、水分摂取量に注意を払いながら支援を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に2回を基本に入浴を支援しております。毎日入浴が可能であり希望に応じて調整しながら対応しております。入浴の際には職員との会話も楽しんで頂けるように努めております。	通常は週2回ですが、回数や入浴時間の希望には柔軟に対応しています。入浴嫌いの利用者には無理強ひせず、声掛けの工夫や相性の合う職員で対応しています。季節のゆず湯や菖蒲湯で楽しんでいます。自分のシャンプーや化粧品を持ち込み楽しんでいる人もいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き休んで頂いております。過ごされる空間が快適に安心して過ごせるようプライバシーを守りながら環境調整を確保しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている服薬の用法を往診時に主治医または看護師から説明して頂き、薬剤師にも質問できる機会があります。服薬に追加や変更があった際、そのご利用者様の様子を記録に残し職員間で周知し情報共有を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の得意な事、嗜好の好みを把握し、日々の生活に取り入れ役割を感じてもらえるよう支援を行ったり、趣味を通じて他者様との交流を楽しんでいただいております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	週に2~3回の外出の機会があり、事業所近くの神社や富士山の見える所が散歩コースです。車でのドライブや外食、買い物などの支援も頻繁に行っています。事業所内での菜園では季節の野菜の種植えから収穫までの流れを行い、戸外の楽しみも充実しています。	天気の良い日は、利用者の心身状態に合わせたコースを選んで散歩をしています。車椅子の利用者も一緒に散歩をしています。近くの公園へ出掛けたり、ドライブや買い物、外食などへも出掛けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物や外食には職員が付き添います。ご本人が自らお会計をすることにより、お金に対する大切さを感じてもらえるように支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人やご家族からの要望に沿い電話をつないで会話を楽しまれております。また、年賀状などの季節のお手紙に一言記入して頂き、返信して頂くよう支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂兼リビングは自然の光が入り落ち着いた雰囲気になっています。その月の季節感が感じられる手作りカレンダーや行事写真の掲示を行い、季節を感じて頂いています。リビングには温度計を置き、季節に合った適切な温度で過ごして頂ける配慮をしています。	食堂兼リビングは広く、5S（整理、整頓、清潔など）の徹底と、テーブルやソファがゆったりとした空間の中に配置され、柿や紅葉、栗、コスモスの花などの切り絵で秋の季節感を出しています。外気浴や椅子でくつろげるウッドデッキがあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりとくつろげる空間としてソファを用意しております。テレビを見ながら会話を楽しんで頂いております。お一人でゆっくりと過ごされたい方はリビングから少し死角になる場所でテレビをみながらゆっくり過ごされる空間の提供を行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはエアコン・ベッド・クローゼットを備え付けております。使いたれた家具や親しみのある物を居室に置くことでお部屋で落ち着いて過ごせる空間づくりを行っております。入口には飾り付きの表札を貼り、ご自分の部屋だと認識できるようにしています。	予め備え付け備品以外は持ち込み自由で、タンスやテレビ、時計や鏡、ぬいぐるみなど馴染の家具や調度品を揃えて居心地よく過ごせる居室となっています。家具やベッドの配置は家族と相談しています。利用者は職員と共に毎朝清掃と換気に努めています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	更衣、排泄、入浴などその人ができる事を把握して自立して行為を行えるよう声掛け等で上手く導き、支援を行っております。その人が持つる能力を最大限に活かせるよう職員間で情報供給を行っております。		

事業所名	グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘
ユニット名	2階

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えています。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念を掲げたクレドカードを毎朝の申し送り後、声を出して読み上げスタッフ同士確認をし合いながら日々の実践に取り入れるように努めております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、回覧板を頂くことで、地域での催しものや他の施設の行事などに参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	職員に認知症について日々のケアの中や会議などで勉強会を設けて実践内容を学び、いつでも活かせるように理解度を深めております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会の役員、民生委員、市役所、高齢介護課、地域包括支援センター、職員、ご家族、ホーム職員で運営推進会議を開催し情報交換や助言を頂きながら行っております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の案内状と議事録の作成時には直接海老名市役所へ出向き、ホームの状況を説明させていただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	門扉を開放しておりますので、玄関は施錠をしております。一階と二階のフロアを行き来できるようにフロアの出入り口の施錠は行っておりません。身体拘束は行っておりません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月フロア会議を開催し、虐待について検討を行っております。管理者はホーム内で虐待の見過ごしがないかを日々確認しております。ちいさな打ち身も見つけた時はヒヤリ報告書を作成し検討を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を必要とするケースには、管理者が対応をしております。必要に応じて随時職員に説明を行い利用者の支援に結びつけております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には契約書、重要事項説明書を説明し、疑問を伺い回答させていただいた上でご理解、納得をしていただき、同意書をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会において意見をいただいております。また、玄関にも「ご意見箱」を設置しており、頂いた意見は全体会議の議題として検討を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時、一人一人に声を掛け、傾聴を行っております。毎月一階と二階のフロア会議を行い、意見や提案を発言できる時間を作っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員のストレスや疲労の要因に気を配りながら声掛けを行い、日々の様子に注意を払っております。また、職員のやりがいに繋がるようにパート職員の社員昇給も行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修の情報集めに努め、職員の力量に応じ研修参加を促し勤務状況を調整しています。また、介護技術の向上においてはミーティングや実践の中で一緒に取り組みながら指導を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	音楽療法士の方をお招きし、ご利用者様とのレクリエーションにて交流を行ったり、近隣のグループホームの催しに参加させていただき、同業者との交流を行っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居までの生活状態の把握とご本人の意向、思いを考慮したケアを行い、安心して生活して頂けるように職員との関係づくりに努めております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族が求めているものや苦勞、困っていること、これまでの経緯についてゆっくりと話を伺い、事業所としてはどのような対応ができるか、その都度色々な情報を伝えながらご家族との信頼関係づくりを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の思いやその時の状況等確認し、安心して頂き、納得してご利用して頂けるよう possible の限り柔軟な対応に努め必要なサービスの情報提供を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者様を人生の先輩という共通の認識のもと、日々の生活で喜怒哀楽を共にし、信頼し合える関係づくりに努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	居室担当を決め、職員がご家族に日々の様子や心身の変化を手紙にしたため、毎月お伝えしていくことでご家族様と情報の共有を行っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご利用者様が築き上げてきた交流関係を把握していき、訪問時には楽しい時間を過ごしていただけるよう支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活で楽しい時間を過ごしていただく為、ご利用者様同士の関係性を職員が共有し、レクリエーションや食事などお席へ誘導する際には円滑になる様な働き掛けを行っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の事業所に移られたご利用者様が不安なく継続性を持って生活できるようにアセスメントを細かく作成し、情報提供を行い、連絡があった際は速やかに対応して連携できるように努めております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様をご自分で選択できるような声掛けに努めております。また、利用者の思いを引き出すような会話を心がけております。ご自分の思いをうまく伝えられないご利用者には、表情や仕草などを観察したり、家族に聞くなどをして思いを推しはかっております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に本人やご家族に話を伺ったり、担当されていたケアマネージャーより電話や書式にて生活歴やご家族の意向を伺い、情報収集を行い、情報を職員で共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活記録の中に職員との会話や日々のご利用者様の様子を記入しております。看護師からの連絡事項や、一日のご利用者様の様子を職員間で引継ぎ、情報共有を行い、ご利用者様の現状把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者、ご家族の希望を聞きながら医療関係者の意見を取り入れて三ヶ月ごとのカンファレンス、六ヶ月ごとのケアプランを作成しております。支援方法等に変化があった時はその都度作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランにナンバリングを行いケアプランに沿った計画ができるように努めております。生活記録のファイルに作成したケアプランの用紙を入れ、必要なサービスの確認を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人の意向、ご家族の同意を得ながら買い物を楽しんで頂いております。また、通院や送迎等必要な支援にも個々の満足を高められるよう臨機応変に対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域でのお祭りやイベントに参加しております。また、事業所でのイベントに地域の方々のご協力を頂いたり、市の郷土館などの公共施設にもご利用者様とお見学に行き意見交流する機会を設けております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診を受け、体調の変化等の相談を行いながら指示を頂いております。専門的な受診が必要な時は、ご家族の協力を頂いたり、ご家族の同行が困難な場合は職員が通院支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に4日の訪問があります。ご利用者様ごとに診て頂きたい事案を記入しております。看護記録用紙に日々の気づきを残し、看護師にアドバイスを受けています。看護記録を作成し、職員間で共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際介護サマリーを作成し、情報交換をしております。病院に様子を見に伺い、その都度様子を伺い、退院に向けた話し合いに参加させて頂いております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族に現状を説明し、同意書を交わし、今後の方針を主治医、看護師、職員が連携を密に取りながら対応を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時には、まず何をすべきか、オンコール対応策を作成し毎月の会議にて再確認を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ご利用者様の安全確保ができるよう、夜間の想定を含め年2回の避難訓練を実施しております。避難場所には近隣のコミュニティーセンターを利用させて頂くことを自治会より了承を頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩として常に誠意を持って誠実に接する事を心がけてケアを行っております。一人一人の得意な事を把握し能力を発揮して頂くよう支援を行っております。また、不快な思いを感じさせないような声掛けを職員間で共有しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用様が何でも話せる環境づくりに努めております。ご利用様がご自分で選択できるような声掛けを行っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や様子を伺いながら職員間で確認を行い、その日、その時のご本人の意向を優先しご利用様のペースに沿って一緒に生活を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日の体調や様子を伺いながらご本人の意向を優先し、ご利用様のペースに沿えるような支援を行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューと食材は業者に依頼し調理、盛付け、配膳、下膳など一緒に行っています。利用者様の要望あればメニュー変更も可能です。菜園の野菜と一緒に収穫し、調理を行っています。同じテーブルを囲みながら楽しく食事ができるよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人一人の状態にあった食事、水分摂取量を確認し、チェック表に記入しながら職員間で情報共有しております。しっかりと食事水分が摂取できるように一人一人の好みや症状にあった支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後声かけを行い口腔ケアを行っております。仕上げの介助が必要な方は職員が確認を行っております。口腔ケアの介助が必要な方は口の中の状態を常に把握し、職員同士情報共有をおこなっております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	「IN/OUTチェック表」により水分量・食事量と排泄パターンを一覧表に記録し、声掛けによる前誘導を行いながら自立排泄が行えるように支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を記入していき排泄管理を行っております。自然な排便が行えるように毎朝体操を行ったり、歩いて腸内を活性化させております。また乳酸菌を飲用していただき、水分摂取量に注意を払いながら支援を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週に2回を基本に入浴を支援しております。毎日入浴が可能であり希望に応じて調整しながら対応をしております。入浴の際には職員との会話も楽しんで頂けるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き休んで頂いております。過ごされる空間が快適に安心して過ごせるようプライバシーを守りながら環境調整を確保しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方されている服薬の用法を往診時に主治医または看護師から説明して頂き、薬剤師にも質問できる機会があります。服薬に追加や変更があった際、そのご利用者様の様子を記録に残し職員間で周知し情報共有を行っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人の得意な事、嗜好の好みを把握し、日々の生活に取り入れ役割を感じてもらえるよう支援を行ったり、趣味を通じて他者様との交流を楽しんでいただいております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	週に2~3回の外出の機会があり、事業所近くの神社や富士山の見える所が散歩コースです。車でのドライブや外食、買い物などの支援も頻繁に行っています。事業所内での菜園では季節の野菜の種植えから収穫までの流れを行い、戸外の楽しみも充実しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物や外食には職員が付き添います。ご本人が自らお会計をすることにより、お金に対する大切さを感じてもらえるように支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人やご家族からの要望に沿い電話をつないで会話を楽しまれております。また、年賀状などの季節のお手紙に一言記入して頂き、返信して頂くよう支援を行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	食堂兼リビングは自然の光が入り落ち着いた雰囲気になっています。その月の季節感が感じられる手作りカレンダーや行事写真の掲示を行い、季節を感じて頂いています。リビングには温度計を置き、季節に合った適切な温度で過ごして頂ける配慮をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ゆったりとくつろげる空間としてソファを用意しております。テレビを見ながら会話を楽しんで頂いております。お一人でゆっくりと過ごされたい方はリビングから少し死角になる場所でテレビをみながらゆっくり過ごされる空間の提供を行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室にはエアコン・ベッド・クローゼットを備え付けております。使いなれた家具や親しみのある物を居室に置くことでお部屋で落ち着いて過ごせる空間づくりを行っております。入口には飾り付きの表札を貼り、ご自分の部屋だと認識できるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	更衣、排泄、入浴などその人ができる事を把握して自立して行為を行えるよう声掛け等で上手く導き、支援を行っております。その人が持つる能力を最大限に活かせるよう職員間で情報供給を行っております。		

平成28年度

## 目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手 海老名ふれあいの丘

作成日： 平成29 年 1月10日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	65	運営推進会議における参加人数の増員	外部参加者・ご家族様の増員	自治会長様の他に、副会長様にも参加打診をする。参加しやすい曜日のアンケートを取りレクリエーションと合同開催し実際にご入居者様とホームでの生活を肌で感じて頂く。	6ヶ月
2	35	災害・避難訓練内容	近隣住民の参加・いざといった時、落ち着き迅速な対応が取れる様正しい手順を身に付ける。消防署員によるレクチャーを受ける。消化器訓練・避難訓練を実際に見て頂く。	訓練前に、近隣住民への訓練の参加を打診。消防士立会いのもと、消火器訓練・避難訓練の対応方法を学ぶ。会議でも災害について研修会を開催し役割・知識をより深めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月